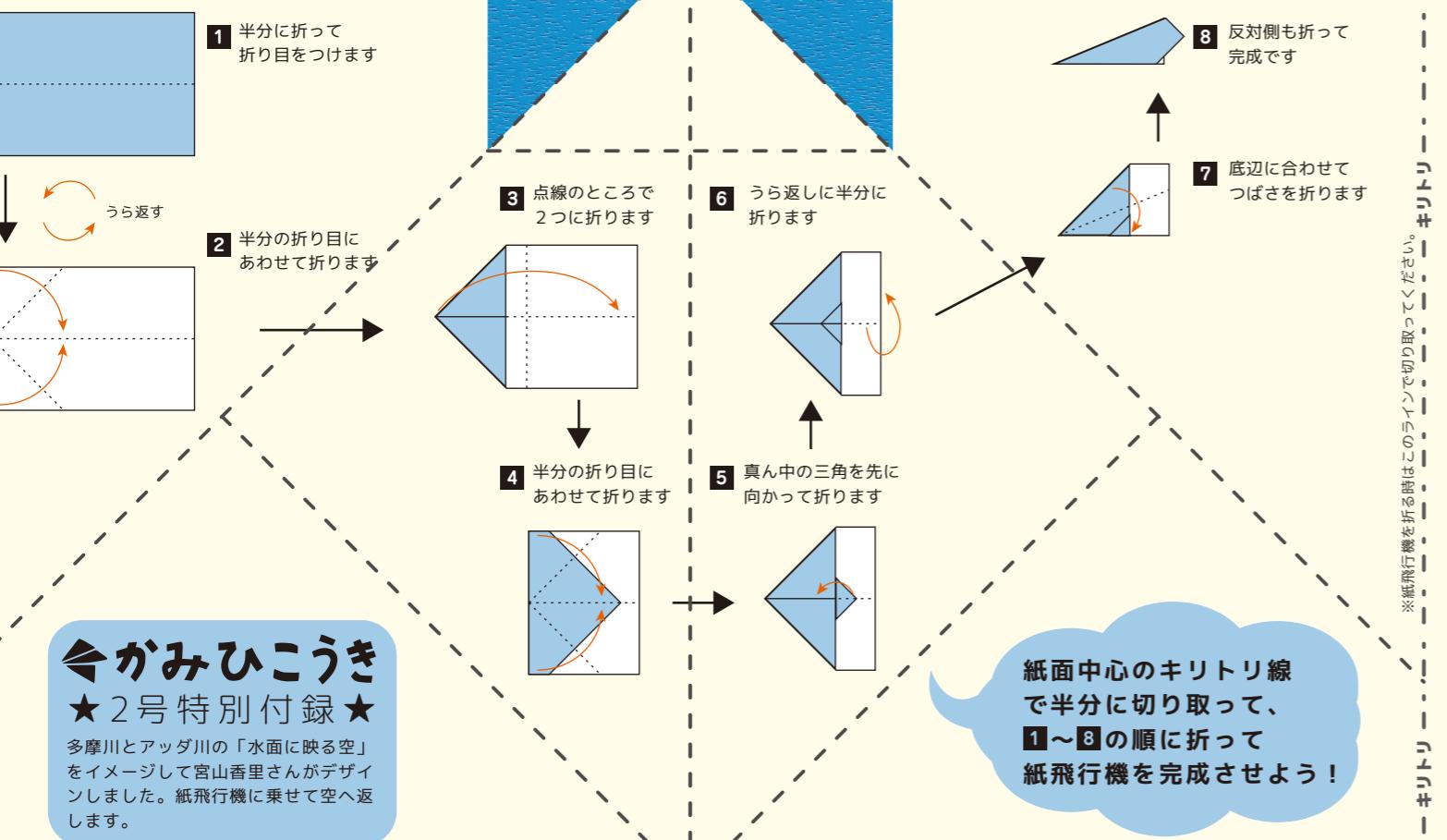


2号

2021年11月  
発行DESIGNER  
杉浦一志 (JISHAQMIN)  
PUBLISHER  
Artist Collective Fuchu [ACF]

## ◆がみひこうき

### ★2号特別付録★

多摩川とアッダ川の「水面に映る空」をイメージして宮山香里さんがデザインしました。紙飛行機に乗せて空へ返します。

# がみひこうき

Artist Collective Fuchu [ACF] かわら版

Artist  
Collective  
Fuchu

### Artist Collective Fuchu [ACF] とは

NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチウは、「表現」や「アート」に関心のある人々が集まるネットワークです。アートイベントの開催や、メディアを通した情報発信、学びの機会となるワークショップの実施など、まちの中での「表現活動」を促進しています。自分たちの住むまちを、より魅力的で生きやすい「誰もが自由に表現できるまち」にしたい。これがわたしたちの原動力です。

<https://acf-tokyo.com>

null [ヌル]  
-自由な場所とアートなこと-

null [ヌル] -自由な場所とアートなこと-

null [ヌル]は"ぬるぬるこねくと"を合言葉にオンラインとオフラインでつながるコミュニティ・サロンです。

10/15(金)~11/14(日)にはオンライン、11/15(月)はオンラインでnull vol.7を開催します。第7回のテーマは「縁起にまつわるモノ」。オフラインでは、若松町にある星星峠にて「縁起にまつわるモノ」をカードに記載いただき、提示します。オンラインでは星星峠に寄せられたカードを紹介しながら、お互いの交流を深めます。参加方法など詳細はQRコードからご確認ください。<https://acf-tokyo.com/news/null-vol-7/>

FM87.4MHzで  
毎月、第1火曜日  
22時から放送中

Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」

府中のコミュニティFM放送局ラジオフチウズ 87.4MHzで、ACFがお届けするラジオ番組です。ゲストをお招きして創作のこと、府中のこと、アートにまつわる内容を中心にお話ししていただきます。2019年10月からスタートした番組も26回になりました。過去に出演されたゲストや番組の詳細は右上のQRコードからご覧ください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/creation/hubs/artist-collective-fuchu/46826/>

中面は新企画  
**ラッコルタ**  
-創造素材ラボ- 特集



ARTS COUNCIL TOKYO

【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、  
NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチウ (ACF) (府中市市民活動センター ブラツツ登録団体) 080-3424-0025  
※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。※掲載記事、写真、イラストの無断複写、複製、転写を禁じます。

アーティストの視点を通して、新たなものの見方を獲得する

## 「ラッコルタ -創造素材ラボ-」はじめました。



— Artist Collective Fuchu [ACF] が府中市市民提案型協働事業として今年度からはじめたプロジェクト、「ラッコルタ -創造素材ラボ-」。チームリーダーで美術家の宮山香里さんにお話を聞きました。

現在、宮山さんはイタリアに滞在しているんですよね。ご自身のお仕事について教えてください。

美術家として、府中市とミラノを拠点に活動しています。日本の大学時代は文化人類学のゼミに所属し、国内外のフィールドワークを行っていました。会社員を経て、2001年に美術大学への留学のため渡伊し、20年ほどイタリアを中心に作品の制作発表を続けています。

コロナ禍以降は、5歳の娘とイタリア人の夫と一緒に府中市で生活していることもあり、ACFにお声掛けいただき、新規事業の企画に携わることになりました。

— 今年度からはじめた「ラッコルタ -創造素材ラボ-」とはどんなプロジェクトですか？

府中市の地元企業に「部材」を提供していただき、それを表現のための「創造学習の素材」として新たに活かす仕組みづくりです。アーティスト主導のワークショップを通じて、子供や大人が素材から発想した表現活動に取り組む予定です。リサイクルにとどまらず、身近なモノを「違う視点」から捉える機会をつくることを重視しています。

「RACCOLTA ラッコルタ」は、イタリア語で「収穫、収集、集会」を意味しますが、素材の収穫を通して、人が集まり、新たな出会いを生む期待を込めて名付けました。

— なぜ「ラッコルタ -創造素材ラボ-」をはじめたのですか？

府中市市民提案型協働事業の公募に向けて、廃材を転用する仕組みづくりの企画を ACF 事務局より任されました。公共機関と協働するなら、よりアートを「自分ごと」として

身近に感じてもらえるような企画にしたいと考えました。

長年イタリアを中心にヨーロッパで活動を続けていると、アートと社会の繋がりを様々な場面で感じます。一方、日本では、特に現代アートをはじめとする「芸術」と「社会」の乖離を感じていました。

イタリアの美大や制作発表の経験を通して、アーティストが社会の中で生きていくことを模索するための心構えを学びました。アーティストは、作品を通して、リサーチや探究、いわば独自の視点を深めていくのが仕事です。コレクター等多くのアートの支援者達は、1点の作品購入で終わるのではなく、その作家の生き様や視点そのものに惹かれ、生涯かけて作品を追っています。アーティストのオリジナルな視点と、社会の動きが連動して美術史となり、現代に繋がっていることを肌で感じました。

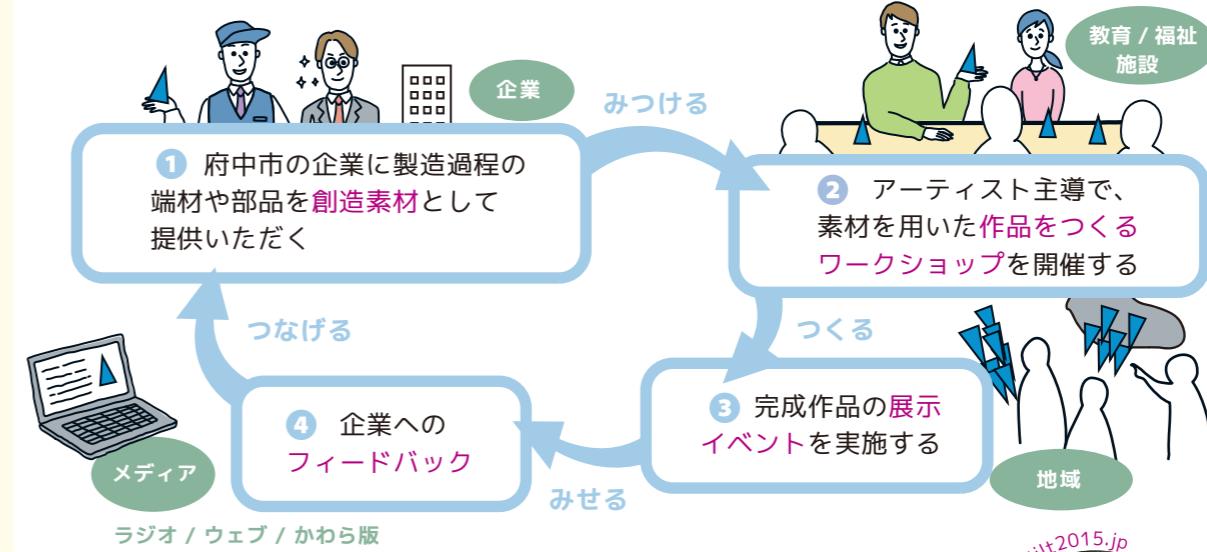
アーティストそれぞれが、独自の視点を持って探究を続けていることを知つてもらう契機になるような事業にしたいです。その視点から刺激を受け、ラッコルタに関わった人々が、その人なりの解釈を拓げ、アートをより身近に感じてもらえるような取り組みになることを望んでいます。

— 「ラッコルタ -創造素材ラボ-」のこれからについて教えてください。

まず12月に第1回、来年に2回目のワークショップを予定しています。地域企業・場所・人・メディアが連帯し合う仕組みづくりを行い、今まで出会うことのなかった人と人、人と場を、アートをきっかけに繋げていきたいです。「視点」が変わると、モノの「価値」が変わること。私たちの日常に転がっている様々な物事が、見方を変えることによって、意味を更新していくこと。そのきっかけづくりをアートが担っていることを提示できるような企画にしたいです。

## ラッコルタ -創造素材ラボ-

<https://acf-tokyo.com/raccolta/>  
創造表現の素材を地域ぐるみで  
供給する仕組みづくり



玉川石材工業株式会社  
お墓の石材サンプル  
<http://www.tamagawasekizai.co.jp>



株式会社 TOKIO Lab  
製品や部品が送られてくる  
ときに使われている梱包材  
<http://www.tokio-lab.com>



(一社)まちづくり府中  
縫鉄（レンタル）  
<https://machidukuri-fuchu.jp>

オンラインワークショップ  
「暮らしの彫刻」をつくろう！  
開催します！ 2021.12.5 (SUN)



「ラッコルタ-創造素材ラボ-」では  
12月5日(日)にオンラインでワー  
クショップを開催します。12月6日  
(月)からはとりときハウスギャラ  
リーで、ワークショップでつくっ  
た作品の写真を展示します。



協力企業募集しています！  
「部材」を提供したい、部材は提供で  
きないけれど何か協力をしたいと考  
えてくださる企業の皆様、ご連絡をお待  
ちしています。  
[project.acf.21@gmail.com](mailto:project.acf.21@gmail.com)



宮山 香里 (みややま かおり)  
府中市で育ち、2001年に渡伊。ポーラ美術振興財団、  
文化庁の助成を受け、歴史建造物の「Spazialità - 空間性 -」と「作品」の関係についてイタリアで研修。以  
降ミラノを拠点に現代美術の制作発表を続ける。同  
時に、文化人類学とアートのリサーチに基づいた独自の  
ワークショップを BLANCO 名義で実行している。  
ウェブサイト <http://studioetcetera.com/kaori/>  
BLANCO <https://blanco.themedia.jp/>